

【日程】

2018年10月17日～10月18日(1泊2日)

【参加者人数】

合計9名(内2名途中参加、1名企画幹事)

【訪問場所】

- 東洋佐々木ガラス千葉工場(千葉県八千代市)
- 千葉セクション(千葉縣市原市)
- 伊勢化学工業一宮工場(千葉県長生郡一宮町)

※訪問順

【内容】

当該見学会の参加者は合計9名(内2名途中参加、1名企画幹事)で開催し、上記日程で千葉県一円を移動した(図1)。



図1. 見学会の移動ルート。

初日、参加は八千代中央駅に集合し、約10分かけて徒歩で東洋佐々木ガラス千葉工場に移動した。その後20分程度の会社説明を受けたあと、ガラスの溶鉱炉、機械製造工程、手作り製造現場の順で一時間程度の時間をかけて工場内を見学した(図2)。



図2. 東洋佐々木ガラス ショールーム内にて。

その後バスに乗りし 1 時間強程度の移動時間をかけ、宿泊会場である養老温泉溪谷 旅館嵯峨和に移動した。

到着後、嵯峨和内にて千葉大学教育学部 泉賢太郎先生より、『千葉県市原市の地層「千葉セクション」で見られる生痕化石』というタイトルで翌日向かう千葉セクションに関する内容のご講演を拝聴した (図3)。



図3. ご講演される泉先生。

二日目、嵯峨和より 10 分程度かけ千葉セクションのある田淵地区の駐車場まで移動し、そこから徒歩で 10 分程度かけ千葉セクションを見学できる河原まで移動した。現地で泉先生より先日の講演内容を振り返りながら地層の説明を受けた。その後河原の泥岩を観察しながら、泉先生のご専門である生痕化石の探索を行い、参加者も河原内に数多くの生痕化石を見つけることができた (図4)。





図4. 千葉セクションの見学風景。

千葉セクション見学後 1 時間半程度かけホテル一宮シーサイドオーツカに移動し昼食をとった。その後 10 分程度かけ、伊勢化学工業 一宮工場に移動した。

伊勢化学工業では 2 0 分程度の会社説明を受けたあと、1 時間強の時間をかけヨウ素が生産される一連の工程を間近で見学することができた (図5)。



図5. 伊勢化学工業社内での記念撮影。

その後 1 時間半程度かけ千葉駅に移動し解散、見学会を終了した。

以上。